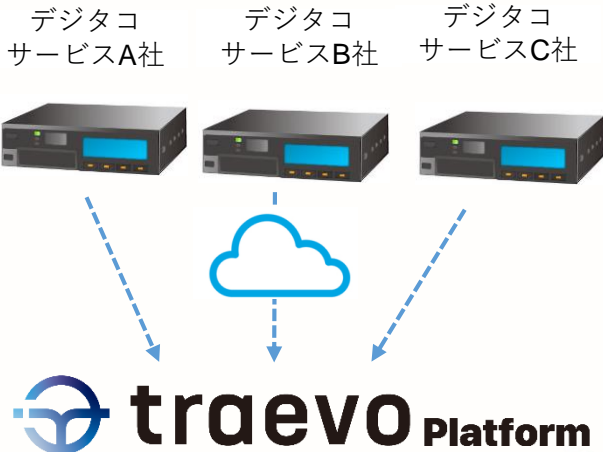


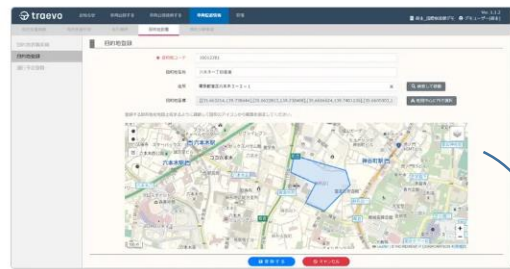
物流2024年問題 荷待ち対策・車両動態の見える化



traevoプラットフォーム連携



traevo Platform UI
目的地到着すると通知がくる



A 車両1km
以内に到着

定期的にメールアドレス・
件名・本文をチェックします。

トラックの到着時間通知により荷待ち改善

- ① 位置情報から管理者及び作業員へ到着予定時間を報知
- ② 梱包・搬送作業の迅速化によりトラックの待機時間削減
- ③ メール音声読み上げ機能により対象車両を特定



管理者・ヤード作業員へ
音と光で報知

Before

トラックの到着時間を把握できず荷役
作業に時間を要しに荷待ちが発生

After

traevoプラットフォームを使用する事により
トラックの到着予定時間を把握し、荷待ち
削減に効果あり

さらに到着予定時間を表示灯で報知する
事により作業の迅速化

How to

● 株式会社traevo
traevoプラットフォーム
動態管理システム・デジタコメーカー連携

● 株式会社パトライト
音声対応ネットワーク制御信号灯 NHV型

音声対応ネットワーク制御信号灯
NHVシリーズ

- セキュアプロトコル、FAプロトコル対応
- プリセット音源 (合計11チャンネル)、Text to Speech搭載
- メール検知、メール音声読み上げ対応
- クラウド (AWS、Azure)、LTE通信対応



1. 荷主・物流事業者に対する規制的措置 【流通業務総合効率化法】

○①荷主*1（発荷主・着荷主）、②物流事業者（トラック、鉄道、港湾運送、航空運送、倉庫）に対し、物流効率化のために**取り組むべき措置**について努力義務を課し、当該措置について国が**判断基準**を策定。

*1元請トラック事業者、利用運送事業者には荷主に協力する努力義務を課す。また、フランチャイズチェーンの本部にも荷主に準ずる義務を課す。

○上記①②の者の取組状況について、国が当該判断基準に基づき**指導・助言、調査・公表**を実施。

○一定規模以上の事業者を特定事業者として指定し、**中長期計画の作成**や**定期報告**等を義務付け、中長期計画に基づく取組の実施状況が不十分な場合、**勧告・命令**を実施。

○特定事業者のうち荷主には**物流統括管理者の選任**を義務付け。

※法律の名称を変更。

※鉄道建設・運輸機構の業務に、認定「物流総合効率化事業」の実施に必要な資金の出資を追加。〈予算〉



【目標・効果】 物流の持続的成長

【KPI】 施行後3年で（2019年度比）

○荷待ち・荷役時間の削減	年間125時間/人削減
○積載率向上による輸送能力の増加	16パーセント増加

【国土交通省 プレスリリースより抜粋】

データ統合型車両動態管理ソリューション

traevoプラットフォームとは

traevoプラットフォームは、異なる車載機器サービスからの車両位置情報や作業ステータス情報を統合的に利用できる日本初のサービス横断型車両動態管理ソリューションです。これまで見ることのできなかつた協力会社の車両の位置情報や作業ステータスが自社車両と同様に確認・把握することが可能になり、輸送状況の全体把握・災害発生時などの緊急対応・サプライチェーン最適化検討などに活用していただくことができます。

保管蓄積されるデータは、お客様の目的に応じて、API接続可能な「自社TMS」、traevoプラットフォーム連携対応の「動態管理サービス」、traevo標準ユーザーインターフェイス「車両公開システム」で利用することが可能です。

traevo対応 通信型デジタコメーカー

デジタコメーカー	製品・サービス
富士通	NexTR
トランストロン	DTS-D/Gxxシリーズ（ITP-Web V3前提）
矢崎エナジーシステム	DTG7 DTG5 YDX8（ESTRA-Web前提）※YDX8検証中
データ・テック	SaftyRecorder
光栄システム	KD250 BX500
システック	ロジコンパス
NPシステム開発	e-Tacho

※デジタコ以外のGPSデバイスやスマホアプリの位置情報サービスともデータ連携実績多数あり